別 添

テクノエイド協会
厚 生 労 働 省

福祉用具・介護ロボットの開発実証環境を整備するための事業

１．背景・目的

高齢化の進展と介護ニーズが増大する一方、介護者の腰痛予防対策の必要性や労働力人口の減少が見込まれる中、平成２４年６月には「医療イノベーション５か年計画」が策定され、その中で「高齢者や介護現場のニーズに応えるロボット技術の研究開発及び実用化を促進する」こととしています。

福祉用具・介護ロボット（以下「介護ロボット等」）は、要介護者の自立と社会参加を支援し、かつ介護者の介護負担を軽減するものとして、その役割や可能性が大いに期待されているところであり、こうした介護ロボット等の開発実用化をより一層進めるための体制整備が喫緊の課題となっております。

こうした背景から、今般、高齢者及び障害者、介護施設等における介護現場ニーズを適切に踏まえた、実用的で、使い勝手の良い、真に必要とされる介護ロボット等の開発実用化を推進するため、介護ロボット等の開発側と介護現場を結びつけるための開発実証環境を整備することといたしました。

具体的には、平成２４年度福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の一環として、公益財団法人テクノエイド協会において、介護ロボット等の開発実用化に当たって必要となる実証試験等に協力いただける介護施設等のリストを作成するとともに、介護側のニーズと開発側のシーズを結ぶための仕組み等について検討することとしています。

２．事業内容

○ 介護施設及びリハビリテーションセンター、市町村等を対象に、介護ロボット等の開発実証試験等への協力の意向を調査します。
○ 介護ロボット等の実証試験等に協力いただける介護施設等のリストを作成します。
○ 協力可能な介護施設等に対して、メール配信等の手段を用いて、介護ロボット等に関する最新情報及び開発実証試験等に関する情報提供を行います。
○ 介護側のニーズと開発側のシーズを結ぶための仕組みを検討します。

３．協力可能な範囲に関する調査について

下記の介護施設等へ本事業の趣旨を周知するとともに、テクノエイド協会のホームページ上においても関係機関等への周知を広く行い、介護ロボット等の開発実証試験等に対する協力可能な範囲について調査します。

（１）介護施設、リハビリテーションセンター等

・全国老人福祉施設協議会
・全国老人保健施設協会
・全国社会福祉施設経営者協議会
・全国軽費老人ホーム協会
・全国有料老人ホーム協会
・日本認知症グループホーム協会
・日本ユニットケア推進センター

・日本在宅介護協会
・全国介護事業者協議会
・リハビリテーションセンター
・身体障害者福祉施設
・その他、介護ロボット等の評価及び導入実績がある機関・団体等

（調査内容・方法）

調査の内容は、以下のとおりです。※変更する場合があります。

また、調査の方法は、テクノエイド協会のホームページに設置した意向登録の画面に直接書き込むことを基本とし、調査票の電子ファイルをダウンロードして電子メールで送信いただくことも可能とします。なお、回答いただく方は、介護ロボット等の実証試験等に積極的にご協力いただける施設又は居宅介護サービス事業者、あるいは今後介護ロボット等の導入を検討している施設等です。

テクノエイド協会　ＨＰ　http://www.techno-aids.or.jp/

①施設種類（特養、老健、有料老人ホーム、在宅介護サービス、リハセンター、障害者施設、その他）
②運営法人名
③施設名
④施設長名
⑤施設住所
⑥担当者（担当部署、担当者、電子メール）
⑦連絡先（郵便番号、住所、電話番号、ＨＰアドレス）
⑧職種別の常勤職員（医師、リハ職、看護職、介護職、その他）
⑨入所定員（　人）
⑩入所現員（　人）（男性　人、女性　人）、
　→　在宅介護・リハは、１か月あたりの平均利用者数（　人）（男性　人、女性　人）
⑪入所者の平均年齢（　歳）（男性　歳、女性　歳）
　→　在宅介護・リハは、利用者の平均年齢（　歳）（男性　歳、女性　歳）
⑫入所者や利用者の介護状況
　・殆どの介護が必要な者の割合（入所者中　約　　割）
　・一部の介護が必要な者の割合（入所者中　約　　割）
　・殆どの介護が必要ない者の割合（入所者中　約　　割）
⑬介護ロボット等を活用して業務を改善したい分野（特に介護の必要度が高い分野）
　・移乗　・移動　・入浴　・排泄　・見守り　・認知症ケア　・機能訓練
　・洗濯　・掃除　・買い物　・その他（具体的に　　）
⑭介護ロボット等の実証試験及び導入（使用）実績
　・介護ロボット等の導入実績（あり・なし）
　・介護ロボット等の実証試験協力の実績（あり・なし）
　　→「あり」の場合（具体的な協力内容　　）
⑮開発実証試験等に対する協力可能な範囲（重要）
　・施設又は事業者自身の職員や関係者で、評価チームを編成し、モニター調査を行うことが可能
　・長期間（数か月以上）のモニター調査のフィールドとしての受け入れが可能
　・短期間（１か月以下）のモニター調査のフィールドとしての受け入れであれば可能
　・機器のデモや説明を受けてそれに対して職員がコメントする程度であれば可能
　・その他（　　）
⑯開発実証試験等への協力にあたっての条件・要望（自由記載）
⑰介護ロボット等に開発に対する期待・要望（自由記載）
⑱介護ロボット等に関する最新情報や実証試験等に関する情報提供の希望（あり・なし）

（２）都道府県・市町村等

・介護ロボット等の開発実用化の推進に賛同される都道府県・市町村
・介護実習・普及センター、地域包括支援センター等

（調査内容・方法）

調査の内容は、以下のとおりです。※変更する場合があります。

また、調査の方法は、テクノエイド協会のホームページに設置した意向登録の画面に直接書き込むことを基本とし、調査票の電子ファイルをダウンロードして電子メールで送信いただくことも可能とします。なお、回答いただく方は、介護ロボット等の実証試験等に積極的にご協力いただける都道府県及び市町村、あるいは介護実習・普及センター、地域包括支援センター等です。

テクノエイド協会　ＨＰ　http://www.techno-aids.or.jp/

①機関名称（都道府県、市町村、介護実習・普及センター、地域包括ケアセンター）
②担当者（担当部署、担当者、電子メール）
③連絡先（郵便番号、住所、電話番号、ＨＰアドレス）
④介護ロボット等を活用して業務を改善したい分野
・移乗　・移動　・入浴　・排泄　・見守り　・認知症ケア　・機能訓練
・洗濯　・掃除　・買い物　・その他（具体的に　　）
⑤開発実証試験等に対する協力可能な範囲（重要）
・自らの職員や関係者で、評価チームを編成し、モニター調査を行うことが可能
・管内の介護施設等と連携して、長期間（数か月以上）のモニター調査のフィールドとしての受け入れが可能
・管内の介護施設等と連携して、短期間（１か月以下）のモニター調査のフィールドとしての受け入れであれば可能
・機器のデモや説明を受けてそれに対して職員がコメントする程度であれば可能
・その他（　　）
⑥開発実証試験等への協力にあたっての条件・要望（自由記載）
⑦介護ロボット等に開発に対する期待・要望（自由記載）
⑧介護ロボット等に関する最新情報や実証試験等に関する情報提供の希望（あり・なし）

（３）周知及び調査期間

平成２５年２月１４日～３月２９日

（４）ヒアリング調査等の実施

介護ロボット等の開発実証試験等の実施及び、ニーズとシーズのマッチング方策の検討に際して、回答のあった介護施設等に対して、テクノエイド協会が具体的な意向等を確認するためのヒアリング調査を行う場合があります。その際にはご協力をお願いします。

〔本件に関する問合せ先〕

公益財団法人テクノエイド協会　企画部
〒162-0823　東京都新宿区神楽河岸１－１　セントラルプラザ４階
電話　０３（３２６６）６８８３
担当者　五島清国・加藤智幸・梶原成晃・谷田良平